

千川中学校だより

1月号 平成31年1月24日(木)

新たな時代へ

校長 紅床 直也

平成31年になりました。長かった平成の時代は終わり、今年5月から新元号となります。新しい元号が発表されると同時に、社会のあらゆる分野で清新の気があふれ、我々の日常生活も躍動感あふれる雰囲気に包まれることでしょう。奇しくも豊島区では「東アジア文化都市」の開幕式が2月1日に催され、11月までの10ヶ月間、中国は西安市、韓国は仁川広域市とともに東アジアの多様な文化の国際発信力の強化を図ることとなります。そして、来年、2020年は、東京オリンピック・パラリンピック。教育分野に目を向けると、センター試験に代わって大学入学共通テスト実施が予定されているのが、オリパラが閉幕した翌年初めです。2021年度からは中学校の新学習指導要領の完全実施です。

もうすでに、教育改革は始まっています。「何を学ぶか」だけではなく、「何ができるようになるのか」といった知識を活用する力が求められるようになります。特に英語では使える英語力を目指して四技能（聞く、話す、読む、書く）の習得が求められます。学習開始年齢の前倒しで、小学校では「英語科」の先行実施をしている地域が多くなっています。また、来年度からは評価を伴う「道徳」の教科化もあります。これらは全て、学んだことの理解だけでは無く知識を活用する力、学びに向かう力も評価する大学入試改革と連動しています。

今後生徒は、グローバル化が進んだり、人工知能が様々な分野に導入されていったりする変革の時代を生きなければなりません。今までの常識は通用しなくなり、新たな常識を創造していく力が求められます。これは何も一部のいわゆるエリート層に求められていることではありません。少子高齢化が進む日本社会では、高齢者の労働力も求められますが、若い世代一人一人が、能動的な生産力を上げなければ、国全体の活力は衰えていきます。

昨今、なりたい職業名として、「ユーチューバー」を上げる小中学生が増えています。そうした情報発信を上手に行うことは素晴らしいことです。ただし、肝心なのはそれによって何を創造できるかです。世界中の不特定多数の方々が選んで視聴する魅力がなければ存在価値が薄まります。

今後、学校に求められるものは、人生の先輩であり専門知識を持った人間がいかに子どもの個性・特性を見抜いて、それに沿った学びを創造することです。そのためには、教師も子どもも個を磨く不断の努力が不可欠となります。教育の原点は「人格の完成」を目指すことにあります。それに向かう方途は人によって様々だと思いますし、得手不得手も十分に尊重されるべきでしょう。

ただし、どんなタイプの生徒でも、人間力を磨き向上させる上で最も重要なことは「意欲」です。他人にやらされている学習、仕方なくやっている学習はなかなか身に付かないことは大人なら誰でも理解しています。中学校で習う各教科の評価の観点も、「興味・関心・意欲・態度」になっていることに鑑みても、教育を職業として選んだ教員は苦手意識を持っている生徒の学ぶ意欲を向上させる授業（教育活動）を創造し、提供し続けていくことです。もちろん、授業は指導者だけでは成立しませんので、生徒側の学習に対する前向きな気持ちと相俟って学力の向上につながる授業が成立します。

本校の生徒には、将来、楽をして生きていく手段としての職業選択ではなく、困難が伴っても自身の生きがいを感じられるような職業を選ぶ自己決定力をつけてあげたいと強く思っています。

第二回課題別学習教室を開催

先日の1月12日（土）のとしま土曜公開授業において、1・2年生を対象にした、今年度2回目の課題別学習教室を開催しました。開講した講座は、租税教育、国際協力、金融教育、食生活に関する教育の4つです。講座の中には、生徒同士が提示された課題を解決していくための話し合いや発表を行うなど、新しい学習指導要領が求めている「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた学習を行いました。



<租税教育>

東京税理士会豊島支部の方々を講師としてお招きして、「税を通して社会を考える」をテーマに、税金の種類や仕組みを学びました。「税」を公平に集めることを考えながら、社会を考えました。憲法と民主主義、国民主権、国民としての納税の意義について理解を深めました。



<国際協力>

JICA 東京から講師をお招きして、「どうして国際協力が必要なのか」「JICA 国際協力事業」「持続可能な開発目標」について、講師自身の豊富な体験をもとにしたお話を伺いました。世界の課題を見つつ、国内の問題解決にも取り組むことのできる人材の大切さを学ぶことができました。



<金融教育>

みずほ銀行池袋支店の方々を講師としてお招きして、「銀行の役割、お金や金融の様々な働き」をテーマに、将来の自分について考えるきっかけになりました。紙幣の数え方を体験し、金融に関する基礎知識を得た上で、融資業務に関するグループディスカッションを行いました。



<食生活に関する教育>

東京都消費生活総合センターから講師をお招きして、「食生活を考える」をテーマに、飲み物の甘さ（糖度）比べを行いました。班ごとに糖分の成分を計り、含有量を調べました。これからの人生を過ごす上で、健康管理の大切さと豊かな生き方を考えるきっかけとなりました。

生徒の活躍 バドミントン部 豊島区競技大会 男子シングルス 第2位 ****（2年）
東京都中学校生徒理科研究発表会 ****（1年） 発表内容「紙の強度」

※豊島区中学校連合作品展が1月26日（土）～28日（月）9：30～18：00（最終日は正午まで）に、としまセンタースクエア（豊島区役所本庁舎1階）で開催されます。区内中学生の書写、美術、技術・家庭の代表作品を出品します。本校生徒の作品も展示されますので、是非ご覧下さい。